

平成28年度 復旧・復興カレンダー

4月10日 白石川復興パネル展示



大河原桜まつり開催に合わせて白石川右岸で、スマイルリバーサポーターとともにイベントを実施し、県では東日本大震災の復旧状況等のパネル展示を行いました。

6月4日 (主)岩沼蔵王線大師・姥ヶ懐工区トンネル着工式



仙南地域の産業振興や広域防災のための道路ネットワーク整備を推進するトンネル工事等の着工式が6月4日に現地において催されました。

6月10日 6.12総合防災訓練



「みやぎ県民防災の日」(6月12日)に合わせて、大規模地震などに備えるため、県庁や合同庁舎の関係機関と連携した総合防災訓練を実施しました。

9月5日～9日 平成28年度夏期実習生の受け入れ



大学等で主に土木・建築学を専攻している学生を実習生として受け入れ、優秀な技術者の養成及び土木行政に対する理解の醸成を図りました。

11月15日～11月25日内陸土木・地域事務所合同研修会



内陸4土木事務所と合同で、「見て・感じて・学ぶ沿岸被災地復旧・復興研修会」を実施しました。

1月19日 被災建築物応急危険度判定技術者講習会



地震被害を受けた建築物について、その後の余震等による倒壊や、屋根や外壁等の落下の危険性を判定するための講習会を開催し、建築士の方など25名が受講しました。

3月8日 スマイルサポーター意見交換会



スマイルサポーターの皆様との意見交換会を開催しました。日頃の活動状況や意見をお聞きする貴重な機会となりました。

4月22日 蔵王エコライン開通



今年度は、昨年度とは違い、蔵王山の噴火の兆候は確認されませんでしたので、例年どおり4月下旬に蔵王コーラインの開通式が行われました。

6月3日～11日 土砂災害防止月間パトロール

土砂災害防止月間に合わせて、市町の職員や砂防ボランティアの方々とともに、管内2市7町の土砂災害危険箇所のパトロールを実施しました。



8月5日 道路クリーンキャンペーン

「道路ふれあい月間」の一環として、宮城県建設業協会仙南支部とともに管内の道路において清掃活動を行い、約220kgのゴミを回収しました。



9月16日 平成27年災 円田道路災害復旧工事完成

平成26年7月の梅雨前線豪雨及び台風8号で被災した(主)白石上山線の道路災害復旧工事が完成しました。



10月19日～11月2日 平成28年災 災害査定

8月の台風9号及び10号災害に対する公共土木施設災害復旧事業の現地査定が行われ、河川4箇所ですべて89百万円の決定を受けました。



2月23日～28日 基礎調査結果住民説明会

土砂災害警戒区域等の指定促進に向けて、土砂災害危険箇所に関する基礎調査の結果について、角田市及び丸森町で住民説明会を実施しました。



3月18日 白石川河川清掃

白石川において、4月のさくらまつりに向けて、大河原町・柴田町それぞれで、町や地域住民の方々と協力して河川清掃活動を行いました。



1. 事業目標

以下の目標をもとに、仙南地域の暮らしの安全・安心を支え、豊かさを実感できる県土づくりを推進する。

◇震災復興後を見据えた、新たな施設整備と既存施設の維持管理とバランスの取れた社会資本整備の推進。

◇ゲリラ豪雨や蔵王山噴火等、仙南地域の特有な地勢条件を踏まえた災害に強い社会資本整備の推進

2. 主な施策

■仙南地域の産業振興や広域防災のための道路ネットワーク整備推進

- ①広域幹線道路ネットワークを形成する東西交通軸の整備
- ②地域連携を強化し、地域活性化を支援する郡界道路の整備
- ③地域間の交流を支援する幹線道路の整備

■防災・減災の強化

- ①地震等の災害に強い道路の整備の推進
- ②ゲリラ豪雨による浸水被害や土砂災害を防止する河川・砂防事業の推進
- ③蔵王山噴火に備えた防災体制の強化

■仙南地域の住民の日常生活を支える土木建築行政の推進

- ①歩行者の安全・安心で快適な空間確保のための歩道整備の推進
- ②県境を結ぶ幹線道路の除雪体制の強化
- ③多様な主体との連携による道路、河川の維持管理体制の強化
- ④住まいに関わる許認可・相談の円滑な推進

3. 主要な事業

■仙南地域の住民の日常生活を支える土木建築行政の推進

- ①広域幹線道路ネットワークを形成する東西交通軸の整備の推進
 - ・国道 113 号 福岡蔵本道路改良事業(白石市)
 - ・国道 286 号 支倉道路改良事業(川崎町)
- ②地域連携を強化し、地域活性化を支援する郡界道路の整備の推進
 - ・主要地方道 岩沼蔵王線大師・姥ヶ懐 道路改良事業
(村田町・柴田町・岩沼市)

- ・主要地方道 白石丸森線 大張館矢間 道路改良事業(角田市・丸森町)の推進

③地域間の交流を支援する幹線道路の整備の推進

- ・主要地方道 白石丸森線 大鷹沢大町道路改良事業(白石市)
- ・主要地方道 丸森柴田線 坂津田道路改良事業(角田市)
- ・一般県道 蔵王大河原線 新寺道路改良事業(大河原町)
- ・一般県道 越河角田線 耕野道路改良事業(丸森町)
- ・主要地方道 白石柴田線 船岡(追堀)道路改良事業(柴田町)

■防災・減災体制の強化

①地震等の災害に強い道路の整備推進

- ・主要地方道 丸森霊山線 丸森橋耐震補強事業(丸森町)
- ・国道 457 号 芋窪橋 耐震補強事業(川崎町)
- ・一般県道 大河原高倉線 大河原大橋耐震補強事業(大河原町)
- ・国道 349 号 耕野災害防除事業(丸森町)
- ・主要地方道 白石柴田線 白川内親災害防除事業(白石市)

②ゲリラ豪雨による浸水被害, 土砂災害を防止する河川・砂防事業の促進

- ・平家川の河川改修事業(白石市・蔵王町)
- ・小田川河川改修事業(角田市)
- ・雉子尾川河川改修事業(丸森町)
- ・南台沢通常砂防事業(白石市)

③蔵王山噴火に備えた防災体制の強化

- ・松川火山砂防事業(蔵王町)

■仙南地域の住民の日常生活を支える土木建築行政の推進

①歩行者の安全・安心で快適な空間確保のための歩道整備

- ・国道 349 号小坂歩道整備事業(角田市)
- ・一般県道 角田柴田線神次郎歩道整備事業
- ・国道 286 号今宿歩道設置事業(川崎町)
- ・国道 113 号 関 消雪施設設置事業

②県境を結ぶ幹線道路の除雪体制

- ・国道 113 号及び 286 号等の県際道路の除雪体制の強化

③多様な主体と連携による道路・河川の維持管理体制の強化

④住まいに関わる許認可・相談等の円滑な推進

4. 復興事業（（主）岩沼蔵王線 大師・姥ヶ懐工区トンネル工事着工式）

主要地方道岩沼蔵王線は、岩沼市を起点とし村田町を経て蔵王町に至る幹線道路であり、東北縦貫自動車道と仙台東部道路のアクセス道路であるとともに、仙台空港と内陸部を結ぶ東西軸として位置づけられている重要な路線である。

岩沼市大師地区から村田町姥ヶ懐地区までの約3.7km区間は、屈曲カーブが多く狭隘で線形が悪い峠道となっており、東日本大震災時には、復旧車両等の通行に支障を来たしたことなどから、災害時にも有効に機能する「防災道路ネットワーク」の構築のため、復興予算にて事業を進めている。

平成24年度より順次事業に着手してきたが、今年度よりトンネル工事に着手することから、平成28年6月4日（土）に着工式を行った。

- 開催日時 平成28年6月4日（土）午前11時から
- 開催場所 岩沼市志賀地内（岩沼側坑口部）
- 内 容 挨拶、祝辞、地元小学生による交流促進への思いの発表、
鍬入れ、掘削工事の着手（アトラクション）、
開通に向けての期待の言葉
- 出席者 【主催側】宮城県副知事、岩沼市長、村田町長ほか
【来賓】西村衆議院議員、宮城県議会副議長、期成同盟会
他 約70名

平成28年6月4日着工式（鍬入れ）及び、式典状況（掘削着手アトラクション）



平成 28 年度工事着手後の写真



5 . 6 年目の課題（震災後における土木部予算と事務所予算）

沿岸域とともに内陸土木事務所においてもマンパワー不足に伴う問題が顕著化している、東日本大震災後、予算は震災前の約 2.0 倍に増加しているが、職員の数は減少していることから、マンパワー不足の状況下における適正な業務執行体制の確立に向けて、取り組み続ける必要がある。

年 度	土木部予算	(単位:億円)
		事務所予算
H24	2,510	73
H25	2,845	93
H26	3,015	94
H27	2,910	95
H28	3,038	113

【参 考】

- 職員数:現員 54 名(▲8)[正職員 46 名(▲15 名)、再任用 8 名(7 増)]
- 事業予算:平成 28 年度事業費約 113 億円(2.2 倍・62 億円増)

道路施設の再生・復興状況の写真



着工前



(主) 岩沼蔵王線 (岩沼市志賀地内)
トンネル坑口起点

完成



平成29年2月
施工中

着工前



(主) 白石丸森線 角田市 坂津田
道路改良工事

完成



平成29年2月
施工中

着工前



(主) 仙台村田線 村田町菅生地内
支承補強工事

完成



平成28年8月
完了

着工前



(一) 大河原高倉線 大河原地内
耐震補強工事(緩衝チェーン設置)・塗替塗装前

完成



平成28年9月
完了

着工前



(-) 越河角田線 丸森町耕野地内
道路改良事業(道路拡幅部河川護岸)

完成



平成29年3月
施工中

河川施設の再生・復興状況の写真



着工前



雉子尾川 丸森町大内地内
排水樋門工事 着手前

完成



平成29年3月 現在
完了

着工前



平家川 蔵王町 宮地内
河道掘削工事着手前

完成



平成29年3月
完了

平成28年度 復旧・復興カレンダー

5月3日～5日 広瀬川で遊ぶのを開催



関係機関との共同開催、河川行政への理解向上を目的として開催しました。

6月30日 相馬亘理線橋梁災害復旧工事

事業説明会を開催

7月29日 菖蒲田海水浴場プレオープン

東日本大震災以後、休止していた菖蒲田海水浴場について、海岸堤防の復旧が進み、来年度の本格オープンを前にプレオープンしました。



12月19日 塩釜亘理線 早股寺島工区の供用開始

県と岩沼市により平成24年度から整備を進めてきた、主要地方道塩釜亘理線早股寺島復興道路が完成し供用開始しました。



12月26日 川平の1急傾斜地の崩壊対策事業の完成



平成27年9月11日に発生した関東・東北豪雨により被災を受けた川平の1急傾斜地の崩壊対策事業が完了しました。

3月25日 (都) 大手町下増田線開通式を開催

県と名取市により平成19年度から整備を進めてきた、都市計画道路大手町下増田線が完成し開通式を開催しました。同日から供用開始。



来賓者による、くす玉開披とテープカットの後、地域にお住まいの方々が中心となった「渡り初め」が盛大に執り行われました。

4月10日 梅田川・藤川河川愛護会

早朝一斉清掃への参加

4月23日 広瀬川1万人プロジェクトの開催

一般市民1,167名が参加し、河川清掃を行いました。



4月

5月

6月

6月28日 スマイルサポータープログラム

サポーター認定証交付式を開催



スマイルロード3団体・スマイルリバー2団体、新規サポーターを認証しました。

7月

8月

9月9日・10日 五間堀川災害復旧事業

用地契約会を開催

10月21日 佐手川砂防事業の完成

溪岸山腹斜面の崩壊等の被害を受け、山腹崩落土砂の流出防止のため、砂防堰堤工、山腹工を整備し事業が完了しました。



9月

10月

2月22日 五間堀川河川災害復旧工事(その5)の完成



11月

12月

3月26日・28日 七北田川災害復旧事業

蒲生地区 用地契約会を開催

3月25日 岩沼海浜緑地開園式を開催

工事の完成に伴い開園式を開催しました。3月26日から一般開放。



1月

2月

3月



開園イベントとして、少年野球チームを招待した野球教室を開催。

(1) 事務所の動き

宮城県震災復興計画の折り返しとなる平成28年度は、東日本大震災からの復旧・復興の加速化と災害に強い安全・安心な地域づくりに向けて、自治法派遣職員32名を含む職員171名(H28.4.1現在)が一丸となり各種事業を推進した。

平成28年度の事業費は、現年予算514億円と繰越予算355億円を合わせて869億円で、このうち東日本大震災関連の復旧・復興事業が717億円となっており、全体の83%を占めている。

平成28年度末における災害復旧事業の完成率は、箇所ベースで94%、金額ベースで15%となっているが、出来高支払いベースで66%となっている。こうしたなか、平成29年3月25日には、岩沼海浜緑地(北ブロック)が再開園したほか、(都)大手町下増田線が供用するなど、着実に復旧・復興が進んだ一年となった。

(2) 災害復旧事業

当事務所管内の公共土木施設災害復旧事業は、全470箇所のうち、465箇所(約99%)に着手し、441箇所(約94%)で完了した。また、金額ベースでは、全体事業費1,371億円に対して、着手済みが1,149億円(約84%)、完了が204億円(約15%)となっているが、出来高支払いベースでは910億円(約66%)であり、概ね計画どおりの進捗となっている。

これまで懸案であった用地取得についても、民地については七北田川の4筆を除き完了しており、残る七北田川についても、平成28年9月に事業認定申請を行い、12月に公聴会が開催され、平成29年度夏頃には認定告示がなされる予定である。

災害復旧事業の進捗状況(H29.3月末)

		全体	完成	工事中		未着手	完成率 (%)	着手率 (%)	支払ベース	
				工事費	支払額				金額	進捗率 (%)
道路関係	箇所	361	357	2	—	2	99%	99%		
	金額(億円)	188.5	141.9	26.8	15.7	19.8	75%	89%	157.6	84%
河川関係	箇所	109	84	22	—	3	77%	97%		
	金額(億円)	1182.7	61.8	918.2	690.1	202.7	5%	83%	751.9	64%
全体	箇所	470	441	24	—	5	94%	99%		
	金額(億円)	1371.2	203.7	945	705.8	222.5	15%	84%	909.5	66%

砂押川河川災害復旧事業



五間堀川河川災害復旧工事



(3) 復興事業

○復興交付金事業

被災市街地復興土地区画整理事業や防災集団移転促進事業など、市・町の復興まちづくりに関連する復興道路等の整備は、8路線13箇所で行工事を実施しているところである。

今年度は、(主)塩釜亙理線岩沼市早股・寺嶋地区での道路供用や岩沼海浜緑地公園の開園を行った。

復興交付金事業の進捗状況(H29.3月末)

		全体	完成	工事中		未着手	完成率 (%)	着手率 (%)	支払ベース	
				工事費	支払額				金額	進捗率 (%)
道路事業	箇所	9	2	6	—	1	22%	89%		
	金額(億円)	188.8	6.8	91.7	63.7	0	4%	52%	70.5	37%
街路事業	箇所	3	0	3	—	0	0%	100%		
	金額(億円)	89.9	0	69.7	59	0	0%	78%	59	66%
公園事業	箇所	1	0	1	—	0	0%	100%		
	金額(億円)	14.1	0	13.6	13.5	0	0%	96%	13.5	96%
全体	箇所	13	2	10	—	1	15%	92%		
	金額(億円)	292.8	6.8	175	136.2	0	2%	100%	143	49%

(主)塩釜亙理線早股・寺嶋地区



岩沼海浜緑地北ブロック



○社会資本整備総合交付金(復興枠)事業

(一)大和幡谷線大郷町石原地区における災害防除工事を新たに着手したほか、(主)塩釜七ヶ浜多賀城線七ヶ浜町菖蒲田地区においては、海水浴場再開に併せて概ね完了させ、多くの海水浴客を迎えることが可能となった。

(一)大和幡谷線大畑地区



(主)塩釜七ヶ浜多賀城線菖蒲田地区



(4) 東部土木事務所の業務支援

平成28年9月から、東部土木事務所における復旧・復興事業の推進を図るため、当事務所において、東松島市(旧鳴瀬町)分の災害復旧9箇所(道路1箇所、河川1箇所、海岸7箇所)、復興事業2箇所(復興道路)の計11箇所について業務支援を行った。支援体制は、39名(プロパー職員30名、自治法派遣職員8名、任期付職員1名)が東部土木事務所との兼務発令により対応した。

仙台土木事務所による業務支援箇所一覧(案)

事業名	区分	事業期間	全体 事業費 (百万円)	H28 事業費 (百万円)	事業内容	請負業者
州崎復興道路	復興	H23~H29	3,433	1,985	1工区(地盤改良・盛土)	大成・深松・橋本道路JV
					2工区(盛土)	奥田建設
州崎地先海岸	復旧	H22~H29	11,604	4,860	2工区	奥田建設
					3工区	大成・深松・橋本道路JV
大曲地区海岸	復旧	H24~H28	3,660	354	突堤	大成・深松・橋本道路JV
浜市地区海岸	復旧	H24~H28		156	突堤	大成・深松・橋本道路JV
鱒ヶ淵地先海岸	復旧	H24~H28	153	123	築堤・擁壁・捨石	大成・深松・橋本道路JV
長石地先海岸	復旧	H22~H29	789	491	復旧工事	橋本店
長浜地先海岸	復旧	H22~H29	2,790	843	復旧工事	橋本店
東名地先海岸	復旧	H22~H28	4,557	883	その3工事	奥田建設
					その4工事	橋本店

(5) 6年目の課題

○事業進行管理の充実・強化

平成29年度予算の確実な執行と繰越予算の縮減に向けて、本課が取りまとめる「契約ベースの事業進行管理」や「工事進捗状況管理」をもとに、遅延原因の早期把握と迅速な対策による確実な予算支出を図るため、きめ細かな事業進行管理に取り組む。

○用地隘路箇所取得強化

七北田川の多数共有地や数字相続発生などの用地取得困難地については、土地収用による取得を進めるとともに、まちづくり関連する(主)相馬互理線については、町との連携を密にして早期の用地取得に取り組む。

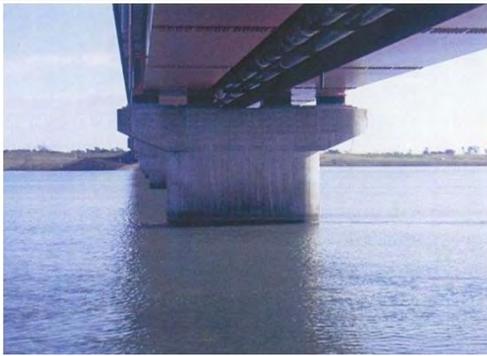
○工事精算に向けた受注者との円滑な協議調整

今後の精算変更において、工事一時中止に伴う増加費用や変更数量等に関する協議調整が本格化することから、受注者との意見交換会を開催するとともに、その予算確保に向けて主務課と十分に連携を図りながら取り組む。

道路施設の再生・復興状況の写真

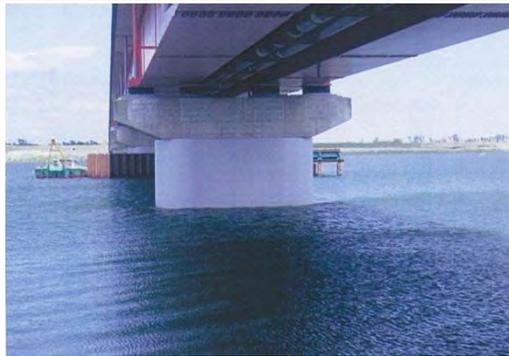


着工前



巨理大橋 巨理町荒浜地内
耐震補強工事

完成



巨理大橋 巨理町荒浜地内
平成28年7月 P3巻立工完成

着工前



荒浜港今泉線 巨理町荒浜地内
避難路整備

完成



荒浜港今泉線
平成28年11月 ボックス部完成

着工前



山下停車場線 山元町山寺地内
避難路整備

完成



山下停車場線
平成29年1月完成

着工前



相馬巨理線 山元町山寺地内
避難路整備

完成



相馬巨理線
平成29年2月完成

着工前



相馬巨理線 山元町坂元地内
橋梁整備

完成



相馬巨理線
平成29年3月 橋梁下部工完成

着工前



(一) 岩沼海浜緑地線 岩沼市押分地内
橋梁架替え

完成



平成28年8月 現在
本復旧 架設完了

着工前



(主) 塩釜巨理線 岩沼市寺島地内
避難路整備

完成



平成29年3月 現在
完成

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真



着工前



南貞山運河 名取市増田・岩沼市下野郷地内
河川堤防沈下欠壊

完成



平成29年2月 現在
本復旧 完了

着工前



中貞山運河 名取市関上地内
河川堤防沈下欠壊

完成



平成28年2月 現在
本復旧 施工中

着工前



増田川 名取市下増田地内
河川堤防沈下欠壊

完成



平成28年8月 現在
本復旧 完成

着工前



砂押川 多賀城市大代地内
河川堤防沈下決壊

完成



平成28年12月 現在
本復旧 完成

着工前



砂押川 多賀城市大代地内
河川堤防沈下決壊

完成



平成28年6月 現在
本復旧 完成

着工前（被災状況）



五間堀川 岩沼市寺島（新浜橋）
河川堤防沈下欠壊

完成



平成29年2月末 現在
本復旧 完成

着工前



葛蒲田地区海岸 七ヶ浜町葛蒲田浜地内
海岸堤防復旧工事

完成



平成28年12月 現在
本復旧 完成

着工前



小白浜地区海岸 松島町手樽地内
海岸堤防復旧工事

完成



平成28年12月 現在
本復旧 完成

着工前



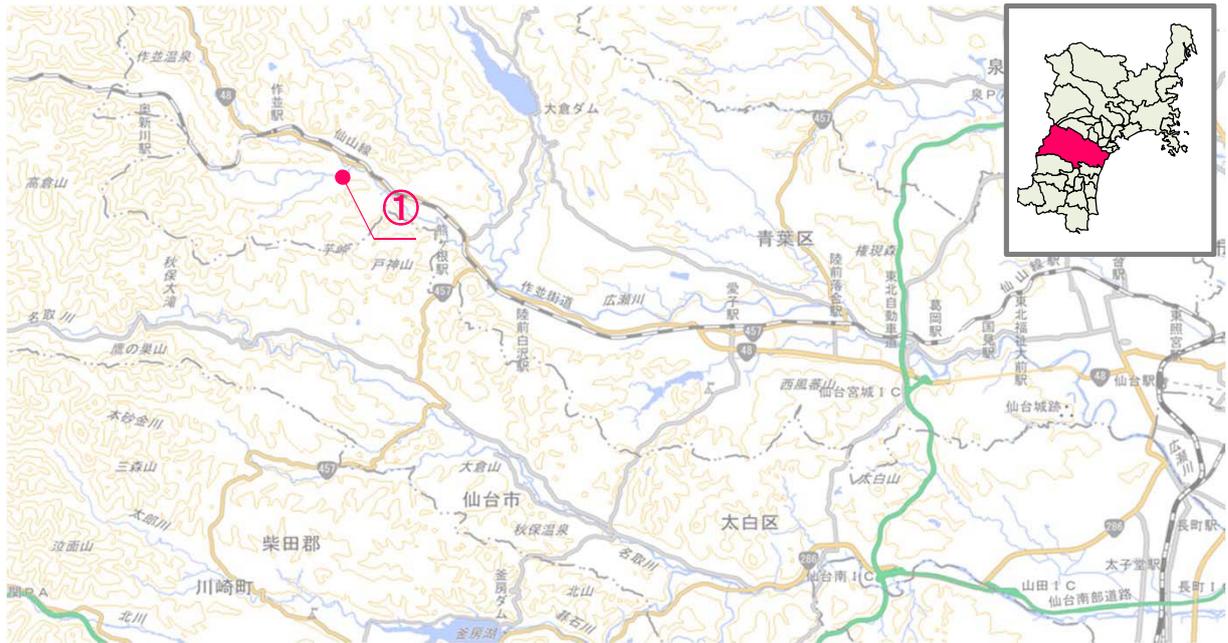
野々島地先海岸 塩竈市浦野々島地内
海岸堤防復旧工事

完成



平成28年6月 現在
本復旧 完成

砂防施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前（被災状況）



佐手川砂防事業（災害関連緊急砂防事業）
溪岸山腹斜面の崩壊

完成



平成28年10月 現在
本復旧 完成

公園施設の再生・復興状況の写真



着工前



岩沼海浜緑地 岩沼市下野郷 地内
施設流出

完成



平成29年3月 現在
完成

着工前



岩沼海浜緑地 岩沼市下野郷 地内
施設流出

完成



平成29年3月 現在
完成

平成28年度 復旧・復興カレンダー

26日 加美郡2町花川流域水防訓練



加美町・色麻町の2町が合同で水防訓練を実施しました。H27豪雨災害では、加美町、色麻町内において、堤防決壊などが発生しましたが、日頃の訓練がいざというとき重要であるとの認識で訓練が行われました。

5日 鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会



今後起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、宮城県震災対策推進条例に定める「みやぎ県民防災の日」(6月12日)に合わせ総合防災訓練を実施しました。

13日 鳴瀬小学校出前講座



児童の皆さんと水生生物の採取や観察を行い、鳴瀬川に生息する生物の特徴について調査しました。また、水難事故から身を守るため、川で遊ぶときの注意事項について説明しました。

5日 大江川改修に係る事業説明会



H28から5ヶ年で実施する床上浸水対策特別緊急事業として実施する大江川捷水路の事業説明会を実施しました。

第1回 平成28年9月5日
第2回 平成29年1月16日
写真は第2回説明会の様子

8日 第4回鍋越峠道路管理検討会議



一般国道347号の通常通行を開始するにあたって、道路管理・除雪体制を検討するため、管理検討会議を開催し、道路管理について決定されました。

19日 一般国道347号通常通行記念式典

一般国道347号は、東日本大震災直後、緊急輸送路に利用できなかったことを契機に、本路線の重要性が再認識され冬期間でも災害時・緊急時に利用可能な輸送路として平成24年度から事業を進め、12月から通常通行を開始することとなりました。



式典に出席したゆるキャラ達



13日 渋井川災害復旧工事 完成



平成27年9月の豪雨で堤防決壊した渋井川の災害復旧工事及び災害関連工事は、一部の工事用道路等を除いて完成しました。

8日 第3回鍋越峠道路管理検討会議

一般国道347号の通常通行を開始するにあたって、道路管理・除雪体制を検討するため、山形県、学識者、交通管理者、道路利用者等で構成される管理検討会議を開催しました。



12日 古南1号線工事説明会

大江川捷水路に並行する市道古南1号線は、県が大崎市から道路改良工事を受託しています。工事に先立ち地元住民に対して説明会を開催しました。



4日～6日 「昭和61年8月5日洪水」から30年 水害の記憶を未来へ

「昭和61年8月5日洪水」から30年を迎える本年、水害の記憶を風化させることなく、後世に語り継ぎ、地域住民のみならずの防災意識を高めるとともに、治水事業の理解を深めていただくことを目的として、講演、パネル展、親子お天気教室などを実施しました。



8月9日、9月11日 緊急堤防点検結果の報告会

平成27年豪雨災害を受けて作成したアクションプランに基づき実施した緊急堤防点検の実施結果を地元関係者に対して説明しました。



5～7日 土砂災害警戒区域の指定に向けた基礎調査説明会

土砂災害の警戒避難体制を整備するため管内に於いて基礎調査の結果について説明会を開催しました。

- ◎ 12月5日大崎市
- ◎ 12月6日加美町
- ◎ 12月7日色麻町



7日 一般国道108号花洲山BP環境検討会

花洲山BP事業に伴う自然環境への影響について、平成27年11月15日のBP供用後の周辺環境の状況等を有識者へ報告し、今後の管理方法について検討いただきました。



27日 出来川災害復旧工事(名越越流堤) 完成



平成27年9月の豪雨で被災した出来川の名越越流堤は、平成28年3月から災害復旧工事を実施しておりましたが、このたび完成しました。

(1) 事務所の動き

昭和 33 年に架けられた志田橋は交通量の増加や橋付近に放射状に集まる路線形状から渋滞しやすく、地元から架換の要望を受けていた。これを受け、平成 20 年度から建設事業に着手し平成 28 年 3 月 12 日に新しい志田橋の開通を迎えた。開通式典後の渡り初めでは、多くの地域住民が参加し、開通を待ち望んでいたことがうかがえた。関連道路・旧橋撤去工事が平成 30 年度まで続くが、最後まで安全な施工を行っていく。

撤去が進む旧志田橋



平成 27 年 9 月の豪雨災害による公共土木施設の被災は、当事務所の執行体制にも大きな影響を与えた。河川・砂防管理施設は、河川砂防第一、第二班が担っていたが、河川・砂防関係の被害が 152 か所に上ったことから、技術関係 5 班で被災箇所を分担して発注から完成まで行うこととなった。通常の業務に加え、災害復旧工事の発注、災害復旧工事の入札不調による複数回の執行と業務量は膨大なものになった。

(2) H27 豪雨災害の災害復旧事業

平成 27 年 9 月の豪雨災害は、当事務所の道路施設や河川管理施設、砂防設備が大きな被害を受け、県民の日常生活に大きな影響を与えた。特

	①契約済		H28年度完成(①の内数公告)		H29年度への繰越		②公告準備(入札不調)		計(①+②)	
	件数	査定決定額 (千円)	件数	査定決定額 (千円)	件数	査定決定額 (千円)	件数	査定決定額 (千円)	件数	査定決定額 (千円)
河川	132	4,535,643	25	1,254,781	119	3,584,119	12	303,257	144	4,838,900
									86.7%	
砂防	6	133,002	3	29,164	5	133,975	2	30,137	8	163,139
									4.8%	
道路	14	92,670	14	92,670	0	0	0	0	14	92,670
									8.5%	
計	152	4,761,315	42	1,376,615	124	3,718,094	14	333,394	166	5,094,709
	91.6%		25.3%		74.7%		8.4%		100%	

に渋井川、名蓋川、渋川、田川、出来川は堤防が決壊し、宅地や水田が冠水し甚大な被害を受けた。

渋井川については、災害復旧工事に加えて堤防の質的改良を行うため災害関連事業により堤防への浸透を抑制する表法覆工、天端舗装工、ドレーン工を実施することとした。

平成 27 年度に渋井川、名蓋川、渋川、出来川の浸水被害を受けた箇所の本復旧工事を発注したが、本復旧工事の発注のピークは平成 28 年度となった。平成 28 年

度は、県以外の災害復旧工事の発注や建設業者の技術者不足も重なり、災害復旧工事は3回の入札不調の後に受注者が決定するなどしたことで、復旧工事の着手に6か月以上を要した箇所もあった。入札不調の箇所は再公告を重ね、10か所を除き、着手した。

新規採択された大江川床上浸水対策特別緊急事業では、大江川の床上浸水から市街地を守るため、新しく大江川捷水路を整備する。今年度は、JR陸羽東線と河川交差部の函渠をJR東日本へ工事委託するとともに、国道347号上流部の河道設計と関連する橋梁設計を実施した。

(3) 一般国道347号通年通行化事業

一般国道347号は、山形県境の鍋越峠付近の道路が狭隘・屈曲であり、県内でも有数の豪雪地帯で雪崩の危険があることから、これまで冬期間は峠を挟む17.7km区間を通行止めとしていた。



東日本大震災直後、緊急物資の輸送路として利用できなかったことを契機として本路線の重要性が再認識され、冬期でも災害時・緊急時に利用可能な道路として供用できることを目指し、平成24年度から道路改良や防災対策等を進め、平成28年12月から通年通行を開始した。

平成28年度には、現道拡幅工事と雪崩対策工事に加えて、冬期間の除雪前線基地となる門沢除雪基地の建設や道路照明灯、気象観測装置、非常電話の整備など開通後の安全な通行にも配慮した。また、専門家、有識者及び道路利用者等から構成される鍋越峠道路管理検討会議で気象観測装置や非常電話についても検討された。また、これまで当該区間を冬季閉鎖していたことから、冬期間の通行時間を午前7時から午後7時までとすることが了承された。



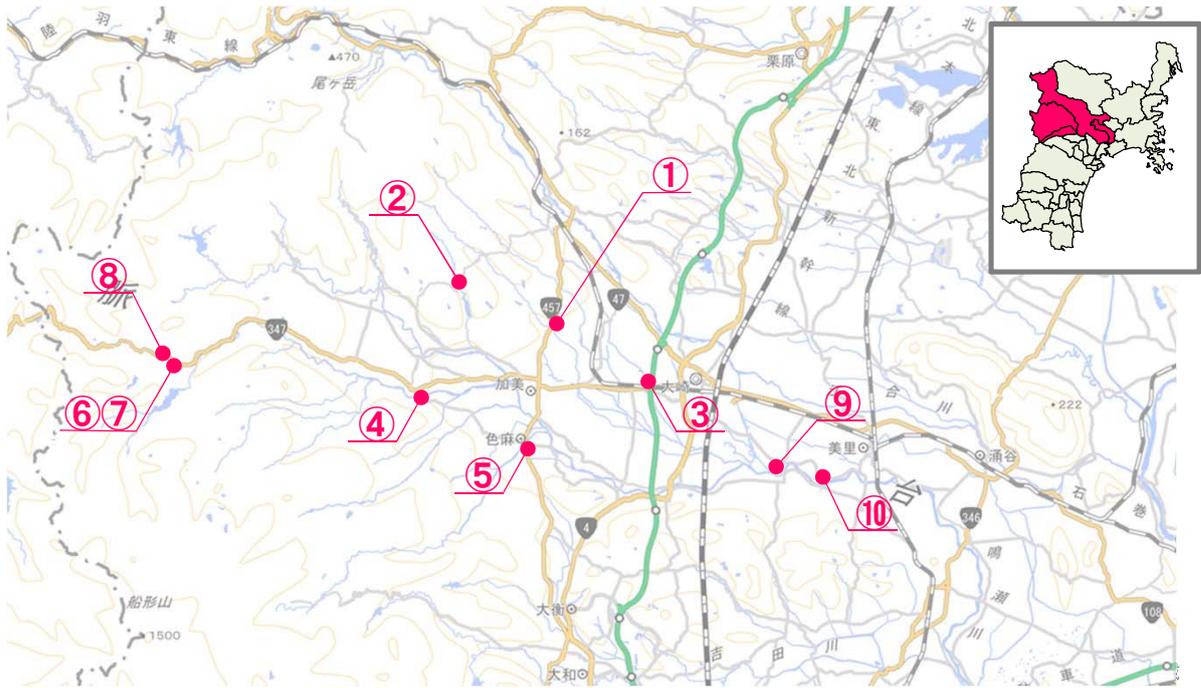
平成 28 年 11 月 19 日には、通年通行が開始されることを祝い、尾花沢市において通年通行記念式典が開催された。

平成 28 年冬期の通年通行開始後の通行状況は、除融雪を万全に取り組んだ結果、大雪警報等に基づく通行止めは延べ7日にとどまった。

(4) 6 年目の課題

- H27 豪雨災害による災害復旧工事を全て発注し、復旧工事を完成させる。
- 大江川床上浸水対策特別緊急事業の用地買収等、事業進捗を加速させる。
- 佐賀川水門建設事業の着実な推進を図る。

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



南澤橋 国道457号 大崎市岩出山 地内
耐震補強前

完成



平成29年3月 現在
耐震補強工事 完成

着工前



白子田橋 県道岩出山宮崎線 加美町下多田川地内
耐震補強(架換)

完成



平成29年3月 現在
架換 完成

着工前



高倉橋 坂本古川線 大崎市三本木齊田地内
着手前

完成



平成29年2月 現在
耐震補強工事 完成

着工前



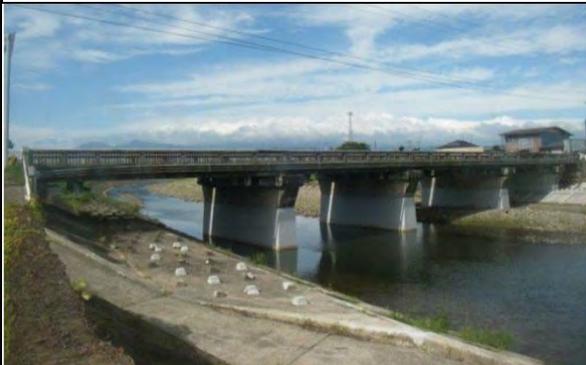
旭橋 小野田三本木線 加美町月崎地内
着手前

完成



平成29年2月 現在
沓座拡幅，支承補強 完成

着工前



国道457号 色麻町籠檀地内
花川橋耐震補強着手前

完成



平成28年12月 現在
完成

着工前



国道347号 加美町宇津野地区
改良前

完成



平成28年11月 現在
完成

着工前



国道347号 加美町柳瀬地区
改良前

完成



平成28年11月 現在
完成

着工前



国道347号 加美町嶽山地区
災害防除 着手前

完成



平成28年12月 現在
完成

着工前



志田橋撤去 大崎市古川下中目地内
旧志田橋撤去直前（古川側から望む）

完成



平成29年3月 現在
撤去 施工中

着工前



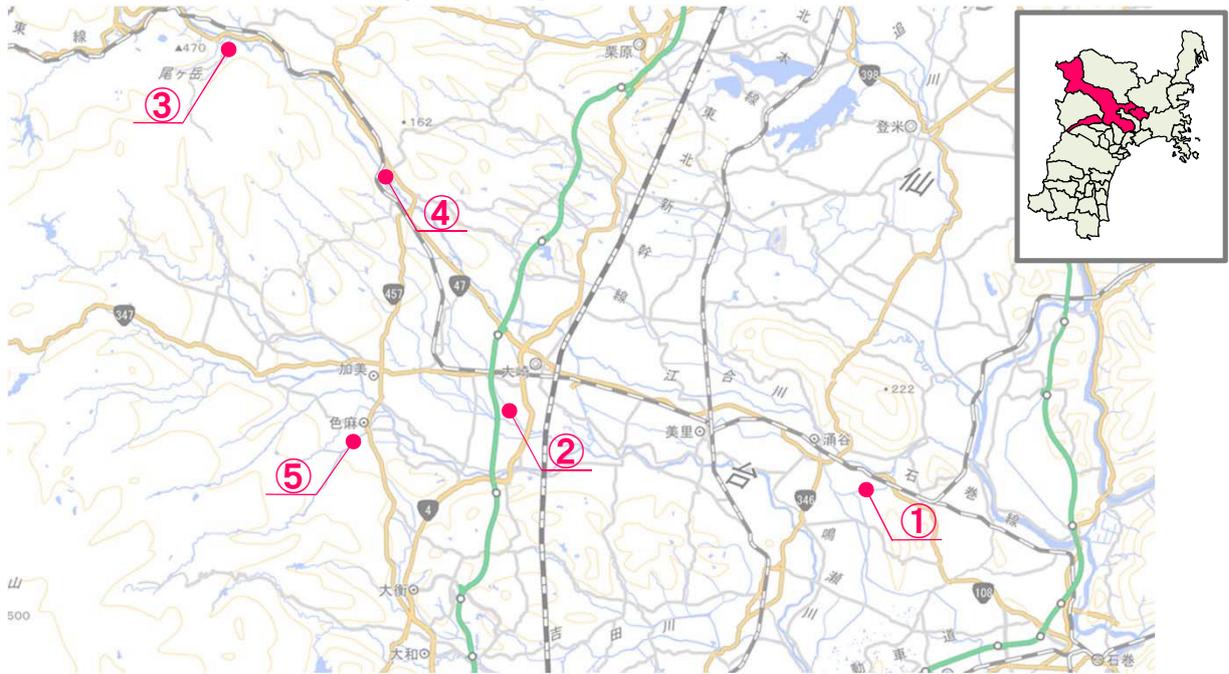
涌谷三本木線 美里町青生地内
狭隘な突角部の改良前

完成



完成

河川施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載



着工前



湯沢川 大崎市鳴子温泉川渡地内
河川堤防 法欠 被災後

完成



平成29年3月 現在
本復旧 完成

着工前



江合川 大崎市岩出山上野目地内
河川堤防 法欠 被災後

完成



平成29年3月 現在
本復旧 完成

着工前



花川 色麻町四竈字大坊地内
河川堤防護岸被災後

完成



平成29年3月 現在
本復旧 完成

砂防・急傾斜地施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



川畑沢 涌谷町猪岡短台地内
砂防堰堤工事着手前

完成



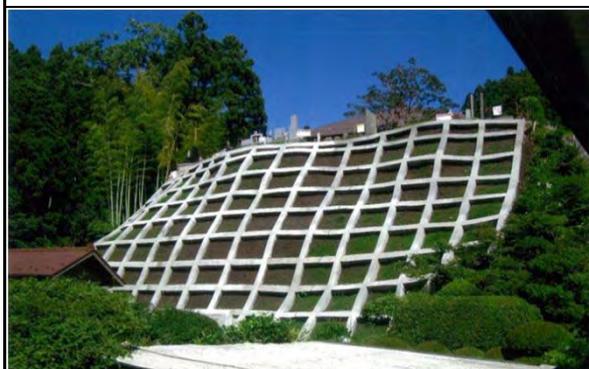
平成28年3月 現在
砂防堰堤施工中

着工前



入町下 大崎市松山千石字松山地内
急傾斜地崩壊危険防止工事着手前

完成



平成28年7月 現在
工事 完成



北部土木事務所栗原地域事務所

平成28年度 復旧・復興カレンダー

4月22日 冬期通行止め開通

国道398号開通式



国道398号、主要地方道築館栗駒公園線の冬期閉鎖区間を開通しました。国道398号では栗原市と秋田県湯沢市の共催により開通式が開催されました。

6月24日 二迫川・芋埴川

点検結果説明会の実施



平成27年9月10日から11日にかけての「関東・東北豪雨」により、決壊した二迫川・芋埴川について堤防緊急点検を実施し、「二迫川・芋埴川堤防点検結果説明会」を開催しました。

8月10日 道路ふれあいクリーンキャンペーン

を実施



栗原地域事務所と宮城県建設業協会栗原支部の共同で実施しました。当日は約90名が参加して管内の道路清掃を行いました。

10月21日 くりこま絆の森

植樹プロジェクトを実施



平成20年6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」に伴う土砂災害で被災した耕英東地区において、地域住民、関係団体等による植樹活動が実施されました。この取組みは、失われた緑地の再生と堆積した土砂の流出防止を図ることを目的としたものであり、約80名が参加しました。

11月26日 栗駒山系直轄砂防事業

完成式への参加



平成20年6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」に伴う土砂災害に対し、岩手・宮城両県知事からの要請により、国(直轄)による土砂災害対策が進められ、このたび両県内のすべての土砂災害対策工事が完了となりました。これを記念し、『栗駒山系直轄砂防事業完成式』が執り行われました。

2月17～21日 国道398号 冬期閉鎖区間

予備除雪



国道398号における冬期閉鎖区間の早期解除を目的に、「春先除雪」に先駆け、閉鎖区間14.4kmのうち約9.6kmの「予備除雪」を実施しました。



平成24年度から旧栗電踏切跡の急カーブ解消を目的に事業を進めてきた岩ヶ崎道路改良事業が完成しました。これにより、急カーブが解消され円滑な交通が確保されるとともに歩道の設置により歩行者の安全性も向上しました。

3月28日 岩ヶ崎道路改良事業完成

急カーブ区間の解消

6月19日 栗原市総合防災訓練

への参加



「平成20年岩手・宮城内陸地震」の経験と記憶を後世に伝え、また、大規模自然災害の発生に備え、被害の未然防止と軽減を図ることを目的とし、栗原市で実施した防災訓練に栗原地域事務所も参加しました。今後も市と連携しながら栗原地域の防災に努めて参ります。

7月30日 みやぎ県北高速幹線道路(築館工区)

全ての橋梁工事に着手



みやぎ県北高速幹線道路(築館工区)につきましては、4箇所の橋梁を計画しており、平成27年度まで2橋に着手しておりました。残る2橋の橋梁についても工事を契約し、事業区間の全ての橋梁に着手しました。

10月17日 一級河川荒川改修事業及び

主要地方道築館登米線道路改良事業計画説明会の実施

近年の度重なる豪雨に伴う洪水により、一級河川荒川が氾濫し、主要地方道築館登米線や周辺田畑が冠水する被害が生じていることから、関係地権者を対象に事業説明会を開催しました。



11月25日 若柳第二大橋橋

橋梁耐震化事業完成

若柳第二大橋は昭和58年3月に架設され、供用後30年が経過しているため、平成26年度から橋梁の耐震化工事を実施し、3ヶ年で完成しました。



1月26日 みやぎ県北高速幹線道路

築館工区で初となる上部工主桁架設の完了



みやぎ県北高速幹線道路(築館工区)で計画している4橋の橋梁の中で初となる上部工の主桁架設が萩沢前2号本線橋で完了しました。引続き、平成30年度の供用開始に向けて事業の進捗を図って参ります。

3月3日 関東東北豪雨による

堤防決壊箇所の工事完成



平成27年9月にかけて発生した「関東・東北豪雨」により、栗原管内の河川144箇所で被災を受けましたが、そのうち7箇所の堤防で決壊が生じました。決壊した7箇所については優先的に工事を進めすべての本復旧工事が完了しました。

(1) 通常事業

1. 総合的な治水対策の推進

迫川をはじめとする管内河川の堤防機能の強化や河道断面の確保など地域の安全安心を支える治水安全度の向上を図る必要がある。

特に平成27年9月の関東・東北豪雨災害を踏まえた「災害に強い川づくり緊急推進費業」アクションプランに基づく事業の推進を実施した。

ハード面においては、迫川の若柳狭窄部を迫川整備方針に基づき若柳大橋から上流に向け約1,200mの河道掘削を実施した。また、小山田川についてはL=1,400mの堤防強化を実施した。

ソフト面では、二迫川及び芋塚川において、水位周知河川の指定を行った。二迫川の荒瀬橋、島巡橋、芋塚川の芋塚橋、荒川の荒田橋に新たにテレメータを設置し、増水時に河川水位をインターネットからリアルタイムで閲覧可能とする等、避難情報の拡充を図った。

維持管理においては、管内全ての有堤部において堤防点検(亀裂や法欠け等の異常箇所を目視確認)を実施するとともにその結果を市民に広くお知らせし、防災意識の啓発を図った。

また、二迫川や、芋塚川、荒川及び夏川等を中心に堆積土砂の撤去や支障木の伐採をする等して、流下能力の向上に努めた。

2. 国道398号冬期閉鎖区間の大型連休前早期閉鎖解除に向けた対策の推進

栗原市と秋田県湯沢市を結び、宮城・秋田両県の産業経済活動や観光振興に寄与する重要な路線である国道398号は、冬期間の積雪や雪崩発生などの厳しい気象・自然条件により冬期閉鎖している花山温泉から秋田県境までの区間について、これまでも栗原市などから冬期閉鎖期間短縮、ゴールデンウィーク前の早期閉鎖解除が求められている区間であることから、雪崩対策などの通行車輛の安全確保を図るための対策に取り組んでいるところである。

平成28年度は前年度のうちに予備除雪等可能な限り対策を実施しゴールデンウィーク一週間前の4月22日に冬期閉鎖を解除した。

恒久対策として進めているスノーシェッド工事については、気象条件により施行期間が限定されることから工期を有効に活用するため、二ヶ年債務で下部工・上部工をそれぞれ発注し、冬期閉鎖前に今年度分の谷側下部工を予定どおり完了す

ることができた。

(2) 災害復旧事業

平成 27 年 9 月に発生した「関東・東北豪雨」により、栗原管内において堤防の決壊や道路法面の崩落、橋梁の流出など 157 箇所被害が発生した。

約 22 億円の査定決定を受けた内、平成 28 年度末までにすべての箇所で着手し、90 箇所(箇所ベースで 57%)で工事が完成した。

引き続き、早期の復旧に向け取り組んでいく。

工種	被災箇所	決定額	契約済額(H29.3末)				完了済(H29.3末)			
			件数		金額		件数		金額	
道路	13	504	13	100%	504	100%	11	85%	159	32%
河川	144	1,692	144	100%	1,692	100%	79	55%	836	49%
合計	157	2,196	157	100%	2,196	100%	90	57%	995	45%

(3) 復興事業

みやぎ県北高速幹線道路IV期事業については、6 月末までに 100%工事を発注し、地盤改良や道路盛土工事を推進した。また、計画している橋梁 4 橋全てに着手した。そのうち供用済の I 期区間とIV期区間を結ぶ萩沢前 2 号本線橋については下部工工事を完成させ、当事業で初めてとなる主桁架設が完了に至った。

国道 4 号築館バイパス国土交通省設計協議及び用地買収を完了させた。

事業の進捗率は 50%を超え、平成 30 年度の供用開始に向け鋭意進捗を図っている。

(4) 6年目の課題(7年目に向けて)

1. みやぎ県北高速幹線道路IV期事業について

平成30年度の供用開始に向けて早期の工事の発注,発注後の進行管理,関係機関との施工調整等を行う必要がある。

また,みやぎ県北高速幹線道路IV期と東北縦貫自動車の接続について,将来的な道路ネットワークの効率性を高めるため,事業化に向けて課題等の整理や関係機関との調整を進めていく必要がある。

2. 災害に強い川づくり緊急対策事業について

・迫川河川改修(若柳狭窄部と二迫川築堤)

平成27年9月の関東東北豪雨により,迫川上流域が甚大な被害を受けたことから,事業の完成が切望されている。

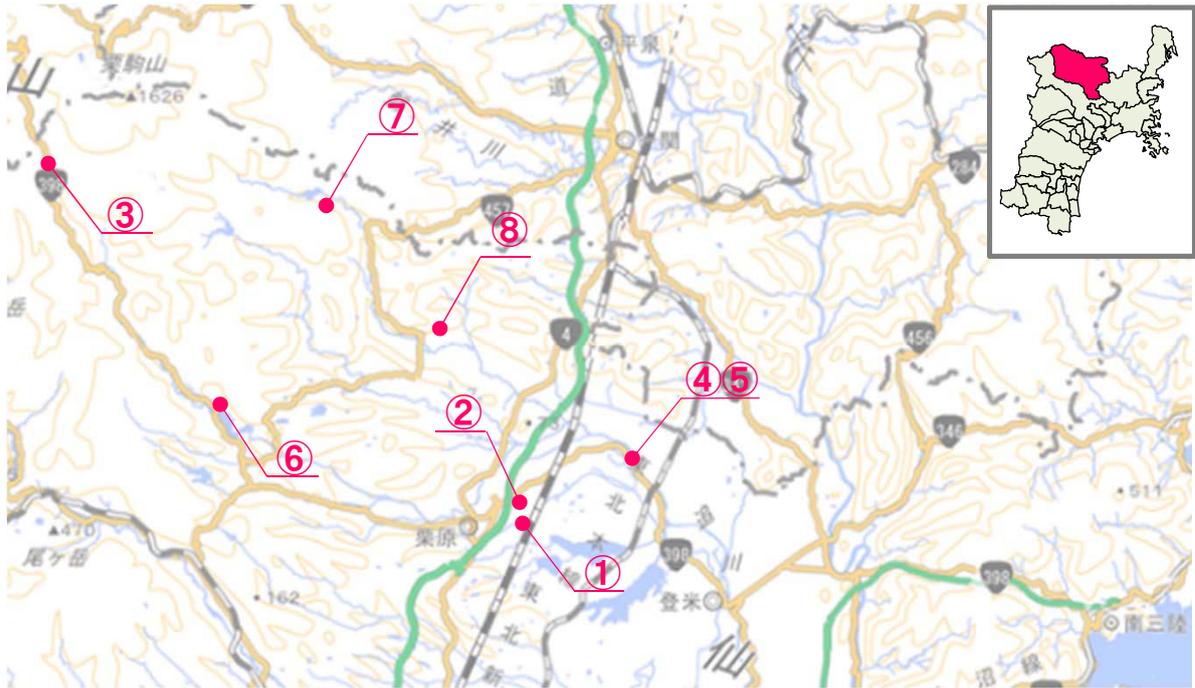
若柳狭窄部の掘削土砂については,二迫川での築堤材として利用しなければならないことから,事業用地の取得が急務であり,平成29年6月までに用地取得を完了させる必要があるため用地買収についてきめ細やかな進行管理をしていく必要がある。

・荒川改修事業

近年の度重なる豪雨に伴う洪水により,一級河川荒川が氾濫し,主要地方道築館登米線や周辺田畑が冠水する被害が生じていることから,荒川の河川改修及びそれに併せて近接する築館登米線の改良が急がれている。

平成29年度は,6月までに当該年度工事予定箇所用地買収を完了させるとともに9月までに工事に着手し,きめ細やかに進行管理を行い,平成32年度の完了にむけ事業を進めて行く必要がある。

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



みやぎ県北高速幹線道路 栗原市築館萩沢前地内
萩沢前2号本線橋

完成



平成29年3月
下部工完了 上部工施工中

着工前



みやぎ県北高速幹線道路 栗原市築館新後沢地内
9号函渠工



平成29年2月 完成

着工前



国道398号 栗原市花山字本沢岳山地内
湯浜スノーシェッド(下部工)工事

完成



平成28年度分完成状況
谷側下部工

着工前



一般県道若柳花泉線 栗原市若柳地内
若柳第二大橋耐震補強工事

完成



平成28年11月 完成
落橋防止装置・変位制限装置・橋脚巻立て

着工前



一般県道若柳花泉線 栗原市若柳地内
若柳第二大橋耐震補強工事

完成



平成28年11月 完成
高欄・伸縮装置・橋面舗装

着工前



国道398号 栗原市花山字本沢北ノ前地内
道の駅路田里はなやま防災拠点設備工事

完成



平成28年7月 完成
太陽光電池・大型表示装置

着工前



(主) 築館栗駒公園線 栗原市栗駒沼倉西沼ヶ森地内
西沼ヶ森災害防除工事

完成



平成28年10月 完成

着工前



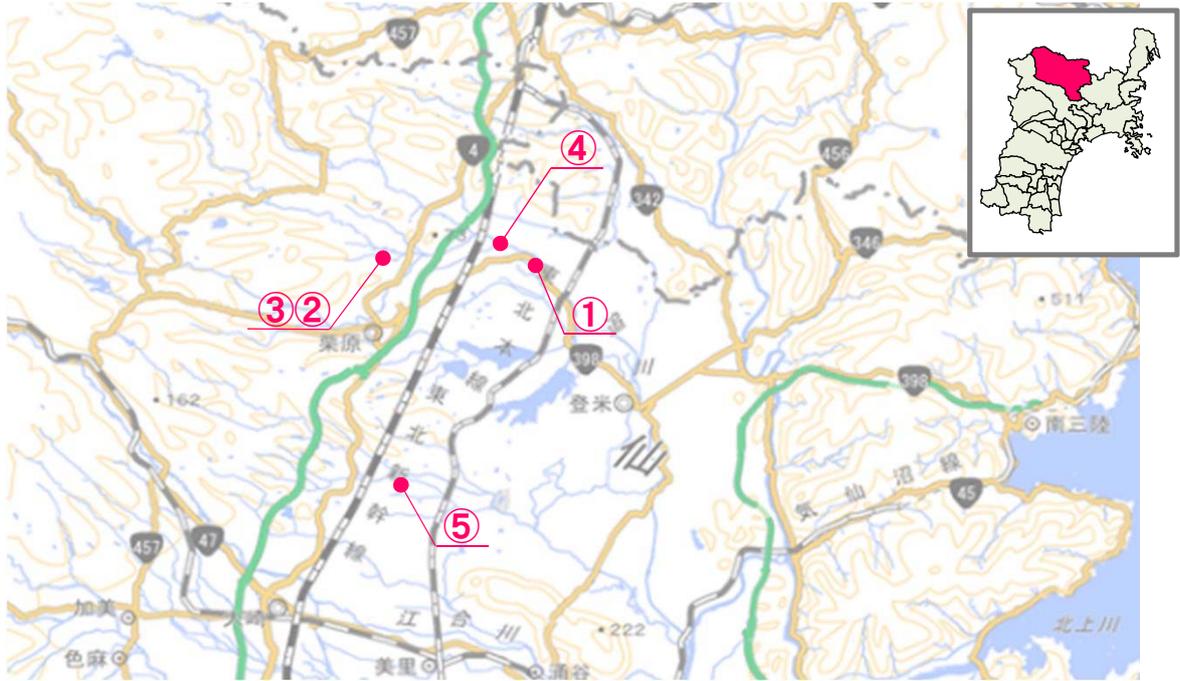
(主) 中田栗駒線 栗原市栗駒岩ヶ崎下町裏地内
岩ヶ崎道路改良事業

完成



平成29年3月 完成

河川施設の再生・復興状況の写真



着工前



迫川 栗原市若柳字川南南町地内
迫川河道掘削工事

完成



平成28年12月 完成

着工前



二迫川 栗原市築館黒瀬
二迫川河川災害復旧工事

完成



平成28年10月 完成

着工前



二迫川 栗原市築館富上境内
二迫川外河道掘削工事

完成



平成28年12月 完成

着工前



迫川 栗原市若柳字大林地内
迫川除草支障木撤去業務委託

完成



平成29年3月 完成

着工前



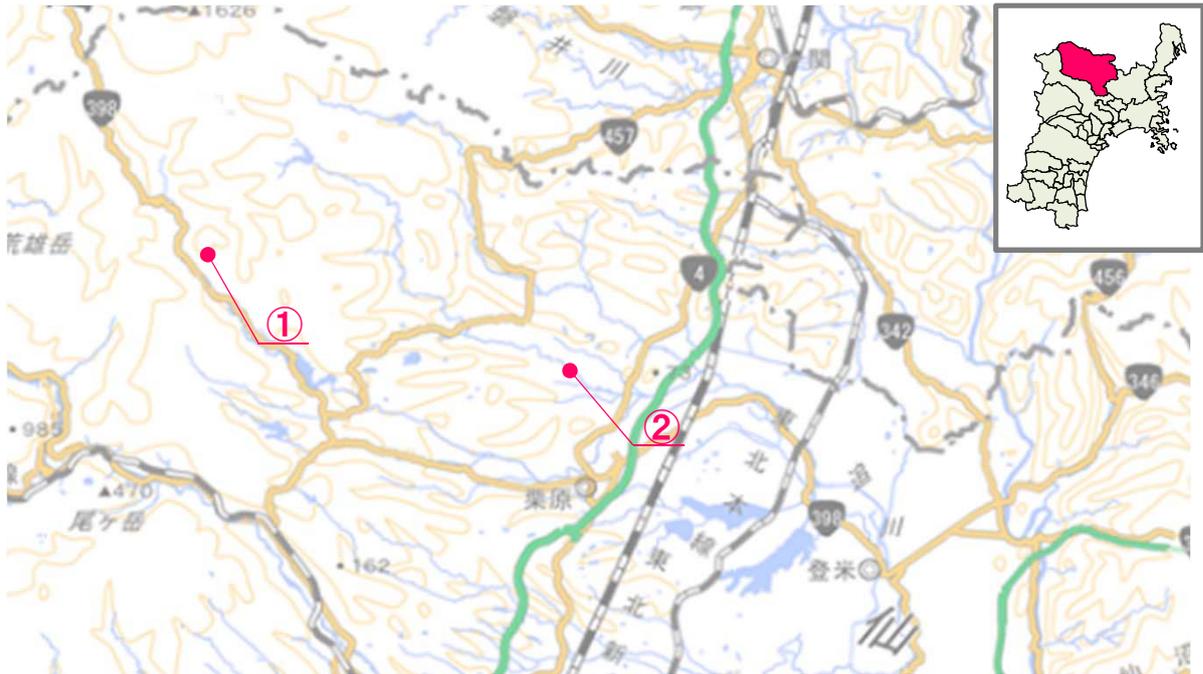
小山田川 栗原市瀬峰蔵王境内
小山田川外築堤工事

完成



平成29年3月 完成

砂防・急傾斜地施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



有賀沢 栗原市栗駒桜田蛇壇地内
有賀沢急傾斜地崩壊対策工事

完成



平成29年年3月
Aブロック 掘削完了

着工前



迫川 栗原市花山字本沢小川原地内
小川原砂防えん堤工事

完成



平成29年年3月

北部土木事務所栗原地域事務所

平成28年度 復旧・復興カレンダー

4月22日 冬期通行止め開通

国道398号開通式



国道398号、主要地方道築館栗駒公園線の冬期閉鎖区間を開通しました。国道398号では栗原市と秋田県湯沢市の共催により開通式が開催されました。

6月24日 二迫川・芋埴川

点検結果説明会の実施



平成27年9月10日から11日にかけての「関東・東北豪雨」により、決壊した二迫川・芋埴川について堤防緊急点検を実施し、「二迫川・芋埴川堤防点検結果説明会」を開催しました。

8月10日 道路ふれあいクリーンキャンペーン

を実施



栗原地域事務所と宮城県建設業協会栗原支部の共同で実施しました。当日は約90名が参加して管内の道路清掃を行いました。

10月21日 くりま絆の森

植樹プロジェクトを実施



平成20年6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」に伴う土砂災害で被災した耕英東地区において、地域住民、関係団体等による植樹活動が実施されました。この取組みは、失われた緑地の再生と堆積した土砂の流出防止を図ることを目的としたものであり、約80名が参加しました。

11月26日 栗駒山系直轄砂防事業

完成式への参加



平成20年6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」に伴う土砂災害に対し、岩手・宮城両県知事からの要請により、国(直轄)による土砂災害対策が進められ、このたび両県内のすべての土砂災害対策工事が完了となりました。これを記念し、『栗駒山系直轄砂防事業完成式』が執り行われました。

2月17～21日 国道398号 冬期閉鎖区間

予備除雪



国道398号における冬期閉鎖区間の早期解除を目的に、「春先除雪」に先駆け、閉鎖区間14.4kmのうち約9.6kmの「予備除雪」を実施しました。



平成24年度から旧栗電踏切跡の急カーブ解消を目的に事業を進めてきた岩ヶ崎道路改良事業が完成しました。これにより、急カーブが解消され円滑な交通が確保されるとともに歩道の設置により歩行者の安全性も向上しました。

3月28日 岩ヶ崎道路改良事業完成

急カーブ区間の解消

6月19日 栗原市総合防災訓練

への参加



「平成20年岩手・宮城内陸地震」の経験と記憶を後世に伝え、また、大規模自然災害の発生に備え、被害の未然防止と軽減を図ることを目的とし、栗原市で実施した防災訓練に栗原地域事務所も参加しました。今後も市と連携しながら栗原地域の防災に努めて参ります。

7月30日 みやぎ県北高速幹線道路(築館工区)

全ての橋梁工事に着手



みやぎ県北高速幹線道路(築館工区)につきましては、4箇所の橋梁を計画しており、平成27年度まで2橋に着手しておりました。残る2橋の橋梁についても工事を契約し、事業区間の全ての橋梁に着手しました。

10月17日 一級河川荒川改修事業及び

主要地方道築館登米線道路改良事業計画説明会の実施

近年の度重なる豪雨に伴う洪水により、一級河川荒川が氾濫し、主要地方道築館登米線や周辺田畑が冠水する被害が生じていることから、関係地権者を対象に事業説明会を開催しました。



11月25日 若柳第二大橋

橋梁耐震化事業完成

若柳第二大橋は昭和58年3月に架設され、供用後30年が経過しているため、平成26年度から橋梁の耐震化工事を実施し、3ヶ年で完成しました。



1月26日 みやぎ県北高速幹線道路

築館工区で初となる上部工主桁架設の完了



みやぎ県北高速幹線道路(築館工区)で計画している4橋の橋梁の中で初となる上部工の主桁架設が萩沢前2号本線橋で完了しました。引続き、平成30年度の供用開始に向けて事業の進捗を図って参ります。

3月3日 関東東北豪雨による

堤防決壊箇所の工事完成



平成27年9月にかけて発生した「関東・東北豪雨」により、栗原管内の河川144箇所で大被害を受けましたが、そのうち7箇所の堤防で決壊が生じました。決壊した7箇所については優先的に工事を進めすべての本復旧工事が完了しました。

(1) 通常事業

1. 総合的な治水対策の推進

迫川をはじめとする管内河川の堤防機能の強化や河道断面の確保など地域の安全安心を支える治水安全度の向上を図る必要がある。

特に平成27年9月の関東・東北豪雨災害を踏まえた「災害に強い川づくり緊急推進費業」アクションプランに基づく事業の推進を実施した。

ハード面においては、迫川の若柳狭窄部を迫川整備方針に基づき若柳大橋から上流に向け約1,200mの河道掘削を実施した。また、小山田川についてはL=1,400mの堤防強化を実施した。

ソフト面では、二迫川及び芋塚川において、水位周知河川の指定を行った。二迫川の荒瀬橋、島巡橋、芋塚川の芋塚橋、荒川の荒田橋に新たにテレメータを設置し、増水時に河川水位をインターネットからリアルタイムで閲覧可能とする等、避難情報の拡充を図った。

維持管理においては、管内全ての有堤部において堤防点検(亀裂や法欠け等の異常箇所を目視確認)を実施するとともにその結果を市民に広くお知らせし、防災意識の啓発を図った。

また、二迫川や、芋塚川、荒川及び夏川等を中心に堆積土砂の撤去や支障木の伐採をする等して、流下能力の向上に努めた。

2. 国道398号冬期閉鎖区間の大型連休前早期閉鎖解除に向けた対策の推進

栗原市と秋田県湯沢市を結び、宮城・秋田両県の産業経済活動や観光振興に寄与する重要な路線である国道398号は、冬期間の積雪や雪崩発生などの厳しい気象・自然条件により冬期閉鎖している花山温泉から秋田県境までの区間について、これまでも栗原市などから冬期閉鎖期間短縮、ゴールデンウィーク前の早期閉鎖解除が求められている区間であることから、雪崩対策などの通行車輛の安全確保を図るための対策に取り組んでいるところである。

平成28年度は前年度のうちに予備除雪等可能な限り対策を実施しゴールデンウィーク一週間前の4月22日に冬期閉鎖を解除した。

恒久対策として進めているスノーシェッド工事については、気象条件により施行期間が限定されることから工期を有効に活用するため、二ヶ年債務で下部工・上部工をそれぞれ発注し、冬期閉鎖前に今年度分の谷側下部工を予定どおり完了す

ることができた。

(2) 災害復旧事業

平成 27 年 9 月に発生した「関東・東北豪雨」により、栗原管内において堤防の決壊や道路法面の崩落、橋梁の流出など 157 箇所被害が発生した。

約 22 億円の査定決定を受けた内、平成 28 年度末までにすべての箇所で着手し、90 箇所(箇所ベースで 57%)で工事が完成した。

引き続き、早期の復旧に向け取り組んでいく。

工種	被災箇所	決定額	契約済額(H29.3末)				完了済(H29.3末)			
			件数		金額		件数		金額	
道路	13	504	13	100%	504	100%	11	85%	159	32%
河川	144	1,692	144	100%	1,692	100%	79	55%	836	49%
合計	157	2,196	157	100%	2,196	100%	90	57%	995	45%

(3) 復興事業

みやぎ県北高速幹線道路IV期事業については、6 月末までに 100%工事を発注し、地盤改良や道路盛土工事を推進した。また、計画している橋梁 4 橋全てに着手した。そのうち供用済の I 期区間とIV期区間を結ぶ萩沢前 2 号本線橋については下部工工事を完成させ、当事業で初めてとなる主桁架設が完了に至った。

国道 4 号築館バイパス国土交通省設計協議及び用地買収を完了させた。

事業の進捗率は 50%を超え、平成 30 年度の供用開始に向け鋭意進捗を図っている。

(4) 6年目の課題(7年目に向けて)

1. みやぎ県北高速幹線道路IV期事業について

平成30年度の供用開始に向けて早期の工事の発注,発注後の進行管理,関係機関との施工調整等を行う必要がある。

また,みやぎ県北高速幹線道路IV期と東北縦貫自動車の接続について,将来的な道路ネットワークの効率性を高めるため,事業化に向けて課題等の整理や関係機関との調整を進めていく必要がある。

2. 災害に強い川づくり緊急対策事業について

・迫川河川改修(若柳狭窄部と二迫川築堤)

平成27年9月の関東東北豪雨により,迫川上流域が甚大な被害を受けたことから,事業の完成が切望されている。

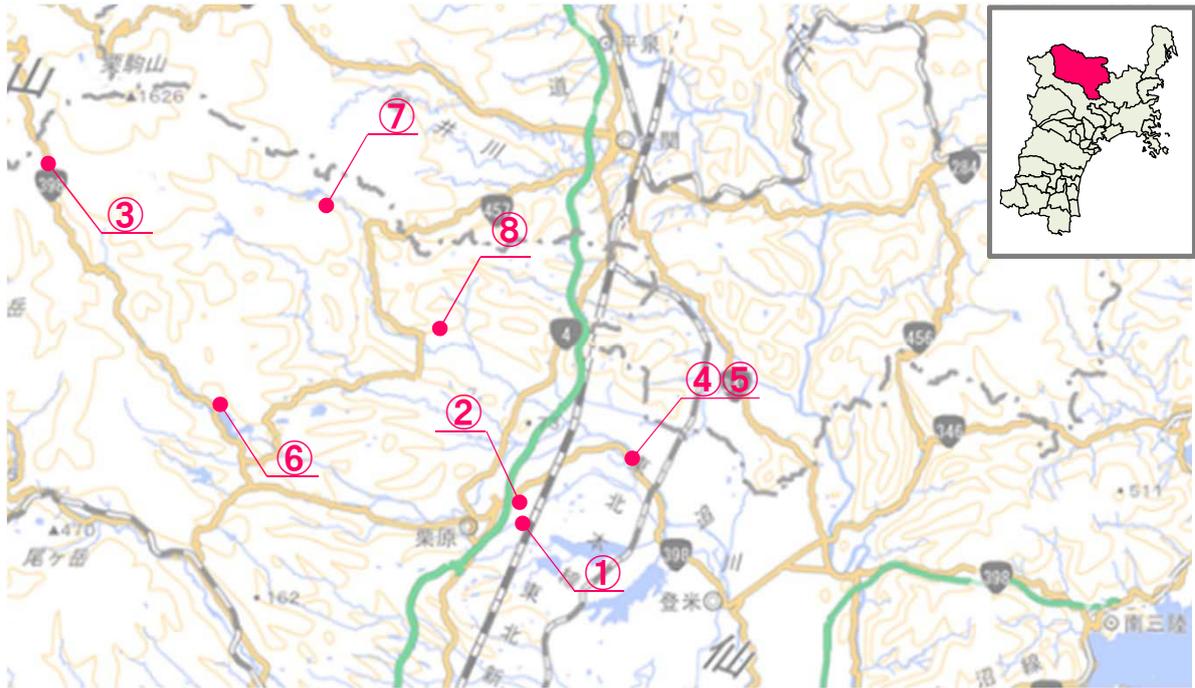
若柳狭窄部の掘削土砂については,二迫川での築堤材として利用しなければならないことから,事業用地の取得が急務であり,平成29年6月までに用地取得を完了させる必要があるため用地買収についてきめ細やかな進行管理をしていく必要がある。

・荒川改修事業

近年の度重なる豪雨に伴う洪水により,一級河川荒川が氾濫し,主要地方道築館登米線や周辺田畑が冠水する被害が生じていることから,荒川の河川改修及びそれに併せて近接する築館登米線の改良が急がれている。

平成29年度は,6月までに当該年度工事予定箇所用地買収を完了させるとともに9月までに工事に着手し,きめ細やかに進行管理を行い,平成32年度の完了にむけ事業を進めて行く必要がある。

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



みやぎ県北高速幹線道路 栗原市築館萩沢前地内
萩沢前2号本線橋

完成



平成29年3月
下部工完了 上部工施工中

着工前



みやぎ県北高速幹線道路 栗原市築館新後沢地内
9号函渠工



平成29年2月 完成

着工前



国道398号 栗原市花山字本沢岳山地内
湯浜スノーシェッド(下部工)工事

完成



平成28年度分完成状況
谷側下部工

着工前



一般県道若柳花泉線 栗原市若柳地内
若柳第二大橋耐震補強工事

完成



平成28年11月 完成
落橋防止装置・変位制限装置・橋脚巻立て

着工前



一般県道若柳花泉線 栗原市若柳地内
若柳第二大橋耐震補強工事

完成



平成28年11月 完成
高欄・伸縮装置・橋面舗装

着工前



国道398号 栗原市花山字本沢北ノ前地内
道の駅路田里はなやま防災拠点設備工事

完成



平成28年7月 完成
太陽光電池・大型表示装置

着工前



(主) 築館栗駒公園線 栗原市栗駒沼倉西沼ヶ森地内
西沼ヶ森災害防除工事

完成



平成28年10月 完成

着工前



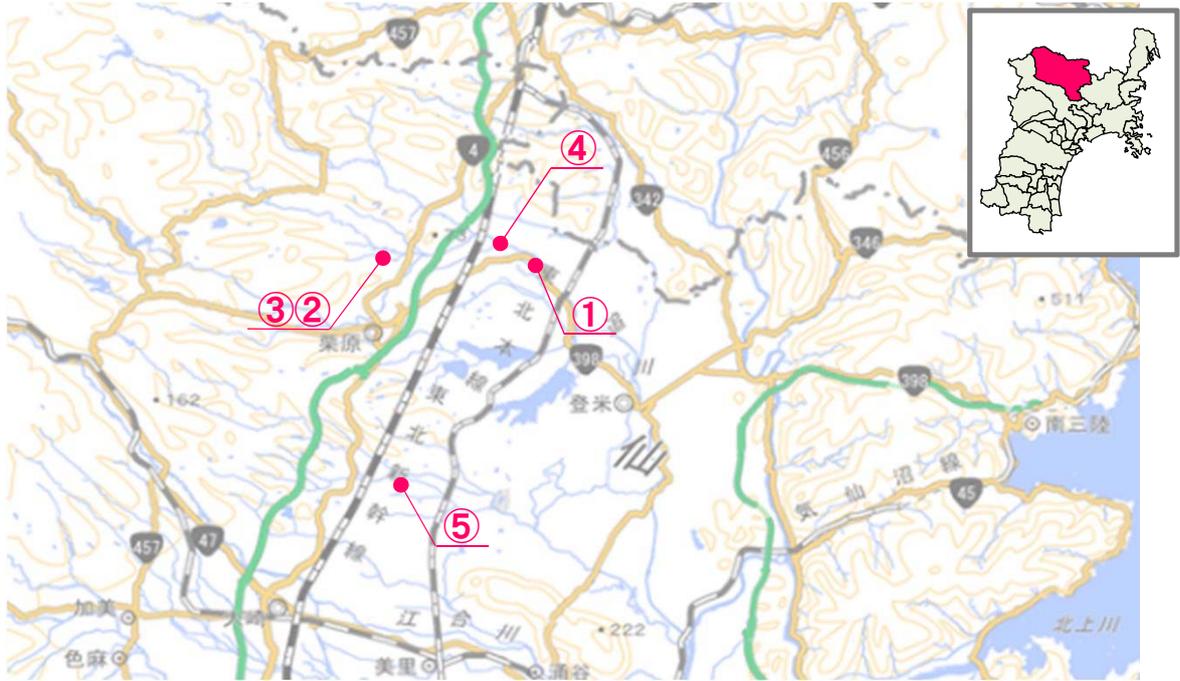
(主) 中田栗駒線 栗原市栗駒岩ヶ崎下町裏地内
岩ヶ崎道路改良事業

完成



平成29年3月 完成

河川施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



迫川 栗原市若柳字川南南町地内
迫川河道掘削工事

完成



平成28年12月 完成

着工前



二迫川 栗原市築館黒瀬
二迫川河川災害復旧工事

完成



平成28年10月 完成

着工前



二迫川 栗原市築館富上境内
二迫川外河道掘削工事

完成



平成28年12月 完成

着工前



迫川 栗原市若柳字大林地内
迫川除草支障木撤去業務委託

完成



平成29年3月 完成

着工前



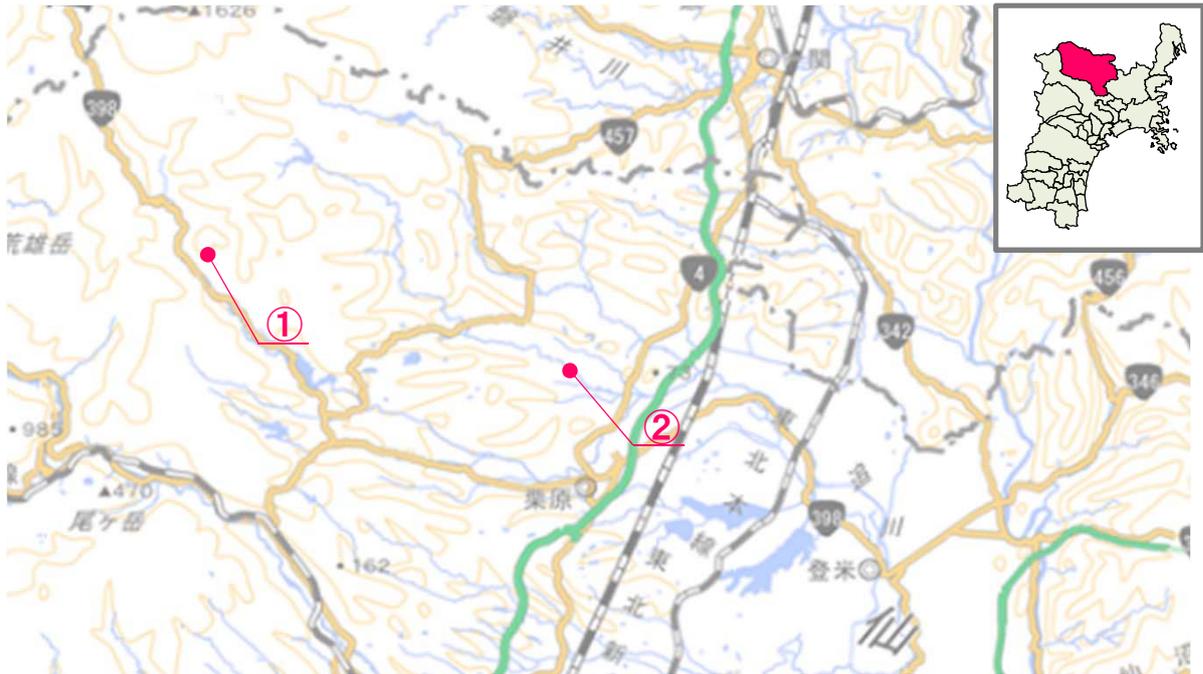
小山田川 栗原市瀬峰蔵王境内
小山田川外築堤工事

完成



平成29年3月 完成

砂防・急傾斜地施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



有賀沢 栗原市栗駒桜田蛇壇地内
有賀沢急傾斜地崩壊対策工事

完成



平成29年年3月
Aブロック 掘削完了

着工前



迫川 栗原市花山字本沢小川原地内
小川原砂防えん堤工事

完成



平成29年年3月